

## 製品名: FGR ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86681

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:60 kDa; Observed MW:60 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	FGR
別名	SRC2; c-fgr; c-src2; p55-Fgr; p58-Fgr; p55c-fgr; p58c-fgr
遺伝子 ID	2268
SwissProt ID	P09769
免疫原	ヒト FGR の合成ペプチド

### 背景

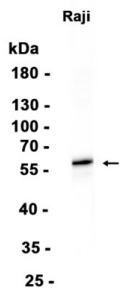
この遺伝子は、Src ファミリーに属するタンパク質チロシンキナーゼ（PTK）の一種です。コードされるタンパク質は、ミリスチル化

およびパルミチル化のための N 末端部位、PTK ドメイン、そしてそれぞれリン酸化チロシン含有モチーフおよびプロリンリッチモチーフとのタンパク質間相互作用を媒介する SH2 ドメインおよび SH3 ドメインを有しています。このタンパク質は細胞膜ラッフルに局在し、 $\beta 2$  インテグリンシグナル伝達経路によって引き起こされる細胞遊走および細胞接着の負の調節因子として機能します。エプスタイン・バーウイルス感染は、この遺伝子の過剰発現を引き起こします。同一のタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



FGR ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Raji 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。